

# ご利用の手引き

## 目次

### [はじめに](#)

[監視オプションと「Mackerel」の関係](#)

[お作り頂く IAM ロールについて](#)

[MackerelAWSIntegrationRole](#)

[CmMonitoringRole](#)

[Mackerel APIキーについて](#)

[Mackerel の情報](#)

### [監視運用の流れ](#)

[発生した事象が軽度 \(Warningレベル\)であった場合](#)

[発生した事象が重度 \(Criticalレベル\)であった場合](#)

[電話通知エスカレーションパターン](#)

[制限](#)

### [監視](#)

[Mackerel へのログイン \(サインイン\)](#)

[Mackerel コンソール \(監視画面\) の見方](#)

[Overview ダッシュボード](#)

[ホスト \(Hosts\)](#)

[ホスト詳細画面](#)

[サービス \(Services\)](#)

[アラート \(Alerts\)](#)

[監視対象 \(ホスト\) 設定](#)

[管理名の登録](#)

[サービス・ロールへの所属](#)

[監視対象 \(ホスト\) の追加と削除 \(退役\)](#)

[監視対象 \(ホスト\) の追加](#)

[追加した監視対象 \(ホスト\) をサービス・ロールに所属させる](#)

[追加した監視対象 \(ホスト\) が ALB あるいは NLB だった場合](#)

[監視対象 \(ホスト\) の削除 \(退役\)](#)

[監視閾値の変更 \(全体\)](#)

[監視閾値の変更 \(個別\)](#)

[例: 特定の RDS についてのみ、RDS CPU Utilization の閾値を変更したい場合](#)

[監視対象からの一時的な停止](#)

[ホスト単位での一時停止](#)

[監視ルール単位での一時停止](#)

### [通知](#)

[メール通知](#)

[電話通知](#)

[チャットへの通知](#)

[その他の操作](#)

[オーガニゼーションの切替](#)

[Mackerel アカウントの追加\(招待\)](#)

[Mackerel UI の言語切替\(日本語・英語\)](#)

[Mackerel サービスの提供状態について](#)

[よくある質問\(FAQ\)](#)

[Mackerelの他のAWSインテグレーション\(例:DynamoDB \)の監視設定方法について](#)

[IAM ロールに管理ポリシーを追加](#)

[監視対象の DynamoDB テーブルに監視タグを追加](#)

[DynamoDB 監視用のサービスを追加](#)

[作成したサービスの下に、ロールを追加](#)

[AWS インテグレーション設定にて DynamoDB を有効にする](#)

[参考](#)

[ALB / NLBを新たに監視開始する場合](#)

[注意](#)

[手順](#)

[ALBの場合](#)

[NLBの場合](#)

[付録](#)

[IAMロールの作成](#)

[情報](#)

[作成手順](#)

[Mackerelアカウントの招待](#)

[Mackerel\(初期状態\)と監視オプション\(お渡し状態\)の違い](#)

[電話通知の番号について](#)

[接続元の IP アドレス範囲について](#)

[ご質問・お問い合わせについて](#)

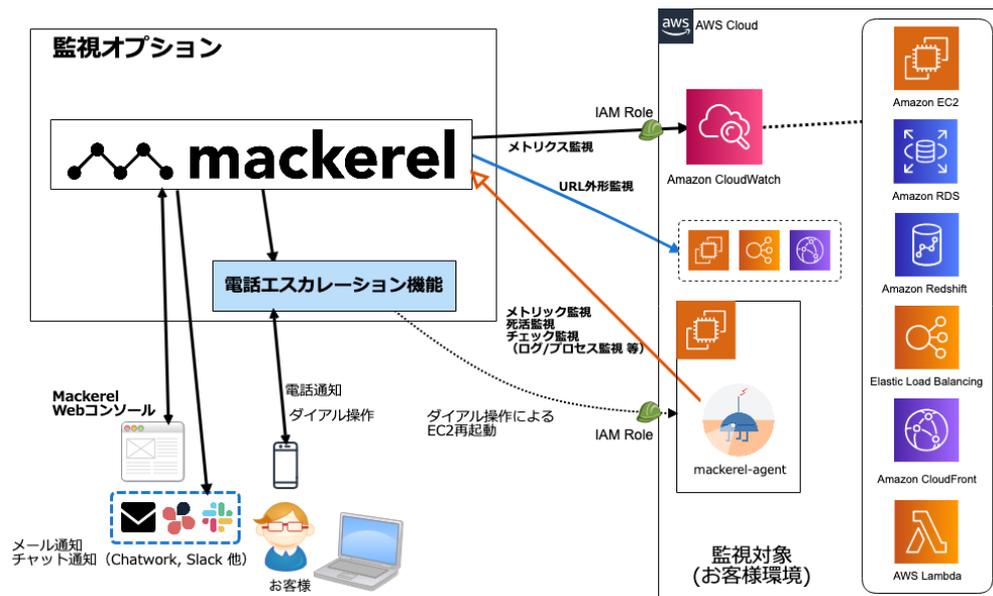
[Mackerelについて](#)

[監視オプションについて](#)

# はじめに

## 監視オプションと「Mackerel」の関係

弊社監視サービス「監視オプション」は、その基幹部分に株式会社はてなの監視サービス「Mackerel」を採用しております。



システム監視部分は Mackerel (Standard プラン) そのものですので、下記のような監視を行うことが可能です：

- AWS インテグレーション機能による AWS サービスの監視
- EC2 インスタンスへの mackerel-agent 導入、ならびにプラグインの追加設定
- 通知機能の活用
- ダッシュボードのカスタマイズ

これに追加しまして、クラスメソッドは下記の機能を提供いたします：

- 初期状態での監視設定
- Mackerel の電話機能の拡張
  - 複数電話番号へ順に架電するエスカレーション機能
  - 通知対象が EC2 であった場合に、電話操作にてインスタンスを stop/start する EC2 電話再起動機能
- メンバーズサポートによるお問い合わせへの対応

後述の付録「Mackerel (初期状態)と監視オプション (お渡し状態)の違い」の項も併せてご参照ください。

# お作り頂く IAM ロールについて

---

監視オプションサービス(Mackerelを含む)のご提供のため、下記の IAM ロール作成をお願いしております。

- MackerelAWSIntegrationRole
- CmMonitoringRole

作成のための CloudFormation テンプレートと手順書を用意しておりますので、そちらをご利用ください。

## MackerelAWSIntegrationRole

- Mackerel による各種 AWS リソースのメトリック情報・タグ情報取得のために必要なロールとなります
- 設定される権限は以下の通りとなります
  - 下記 AWS サービスに対する ReadOnly 権限
    - EC2
    - RDS
    - ELB
    - Redshift
    - CloudFront
    - Lambda
- 信頼される AWS アカウントは下記となります
  - **2174-5246-6226**
- 詳細につきましては、下記 Mackerel ドキュメントもご参照ください
  - [AWSインテグレーション - Mackerel ヘルプ](#)

## CmMonitoringRole

- 電話操作にて EC2 インスタンスの stop/start を行うために必要なロールとなります
- 設定される権限は以下の通りとなります
  - EC2 に対する start 権限
  - EC2 に対する stop 権限
  - EC2 に対する describe (情報取得) 権限
- 信頼される AWS アカウントは下記となります
  - **4784-9296-4816**

## Mackerel APIキーについて

---

監視オプションサービスにて使用(監視対象の状態を取得)するため、下記の名称で API キーを作成致します。

キー名	権限
cm-pn-monitor-hostmonitoring	Read のみ

- こちらの API キーは削除操作されないようにお願いします
- もし誤って、あるいは事情があり削除・再作成した場合でも監視は実行されますが、電話通知が行われなくなります。再生成した際には弊社サポートまでご連絡ください

※APIキーは外部に漏らさないようご注意ください

## Mackerel の情報

---

Mackerel(マカレル)は、株式会社はてな が提供する監視サービスです。

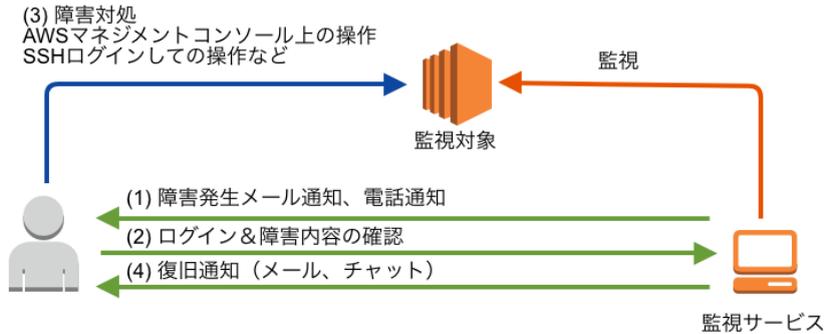
Mackerel 自体は単体でもサービス提供がされております。監視オプションとして拡張した機能以外は全て、一般に流通している Mackerel についての情報が使用できますので、Mackerel の基本的な使い方や、Mackerel を高度にお使いになりたい場合は、それらの情報もご参照ください。

- [ヘルプ - Mackerel ヘルプ](#)
- [FAQ - Mackerel ヘルプ](#)

Mackerel と監視オプション拡張機能の分けについては、「監視オプションと「Mackerel」の関係」をご参照ください

# 監視運用の流れ

「監視オプション」は Mackerel と電話通知機能の両方が連携して動作します。本監視サービスを使用した場合の基本的な監視運用の流れは以下のようになります。

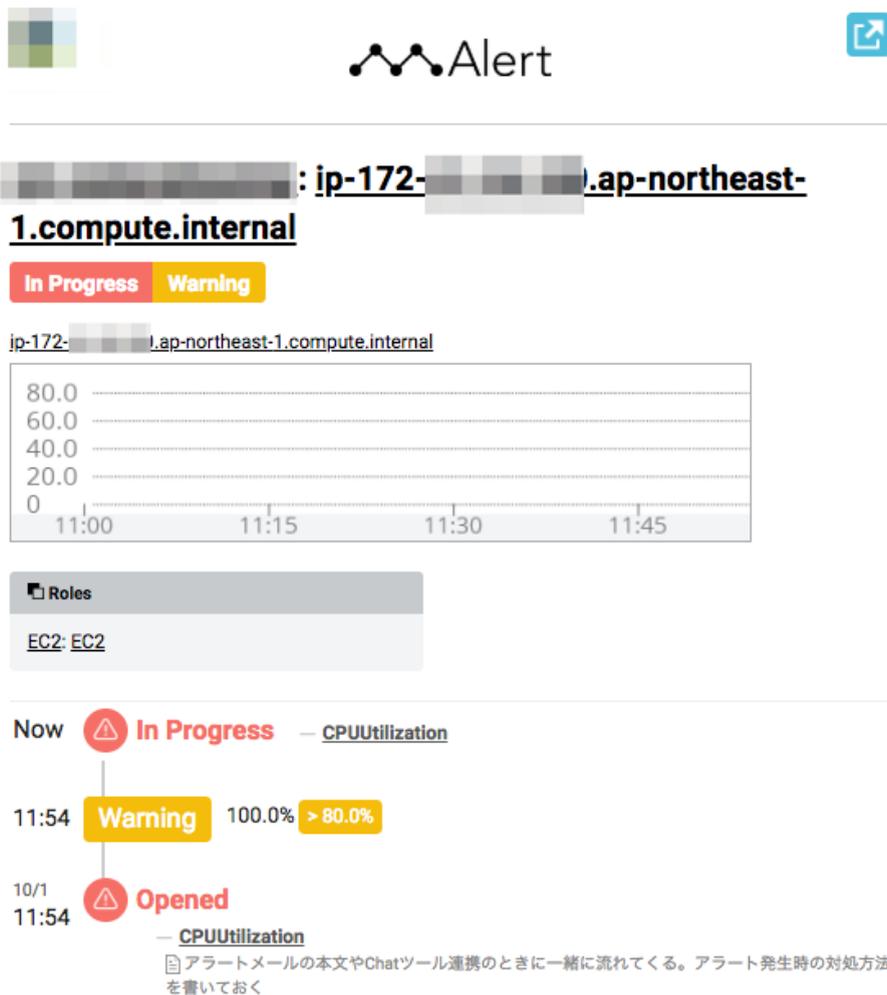


1. 事前に設定してある監視条件（監視項目値のしきい値超過など）に抵触すると監視サービスは障害事象と認識し、メールまたはチャットまたは電話で監視担当者に連絡が行われます。
2. 通知を受信した監視担当者は監視サービス（Mackerel）にログインし、障害内容を確認します。
3. 監視担当者は障害対処を行います。
  - 必要に応じて AWS マネジメントコンソール上の操作、障害発生インスタンスへ SSHログインしての操作を行います。
  - 通知電話からのダイアル操作で、該当インスタンスの stop / start が行えます。
4. 上記対処により、障害事象が解消された場合（監視対象項目がしきい値未満に変わったなど）、監視サービスは監視担当者に復旧通知（メール・チャット）を行います。

以下では、典型的な監視運用パターンについて説明します。

## 発生した事象が軽度 (Warningレベル)であった場合

発生した事象が「Warning」として設定されたしきい値を超過した場合は、メールおよびチャットの通知先について一斉に連絡が行われます (電話連絡はされません)。



例えばメールの場合、下記のようなメールが届きます。

ヘッダ	内容
送信元 (From)	Mackerel < <a href="mailto:noreply@mackerel.io">noreply@mackerel.io</a> >
標題 (Subject)	[<オーガニゼーション名>] WARNING <対象ホスト名> <監視項目名> <現在の値> > <しきい値>

- メール本文には、より詳しい状況が含まれます (発生時刻や直近のグラフなど)。
- (対応された、あるいは自然復旧として) 事象が解消された場合、復旧した (OKになった) 旨の通知が行われます。

## 発生した事象が重度 (Criticalレベル)であった場合

発生した事象が「Critical」として設定されたしきい値を超過した場合は、メールおよびチャットの通知先に加え、電話通知が行われます。

電話通知は事前に設定した電話番号のリストに従って順にエスカレーションされます。

電話通知では、電話ボタンを押下することで、以下の中から対応方法を選択できます。

1. 再起動 (EC2 の障害の場合のみ選択可能)
2. 待機
3. エスカレーション
4. もう一度聞く

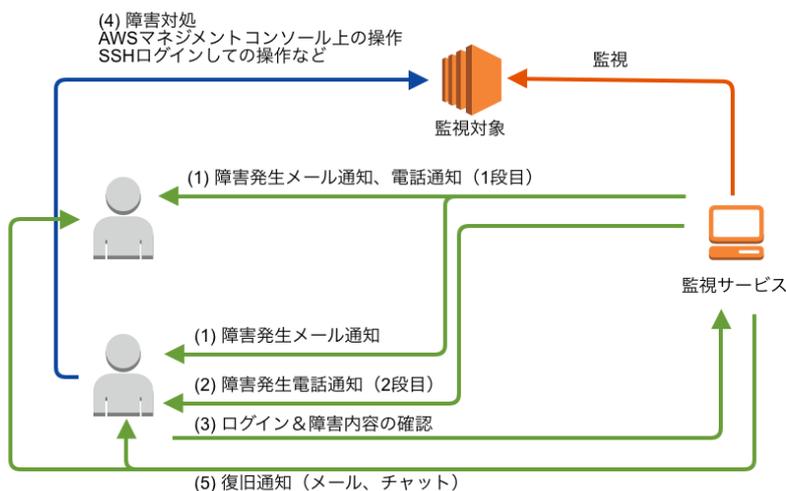
「再起動」を選択すると、監視サービスが対象の EC2 インスタンスの再起動を試みます。再起動を試みた結果、障害事象が復旧すると復旧通知が送られます。再起動に失敗、もしくは再起動しても障害事象が解消しない場合は復旧通知が送られてきませんのでご注意ください。

「待機」を選択すると何も行いません。

「エスカレーション」を選択した場合は、次のパターンで説明しています。

「もう一度聞く」を選択した場合は、電話案内内容を最初から再度繰り返します。

### 電話通知エスカレーションパターン



電話通知時、以下のいずれかに合致した場合、監視サービスはエスカレーションとして次の受電者に電話通知を行います。

- 電話受電者が電話に出なかった場合（話中や呼び出しタイムアウトなど）
- 電話受電者が電話に出て、電話応答において「エスカレーション」を指示した場合
- 電話受電者が電話に出たが、適切に電話応答しなかった場合（指示された以外の電話ボタンを押下や、留守番電話などで何も応答指示しないなど）

※電話応答時に上記に合致しない場合、つまり、「自動再起動指示」や「待機指示」の電話指示を行った場合はエスカレーションは行われません。

## 制限

電話通知機能には下記の制限があります（今後のバージョンアップにて対応される可能性はあります）。

- 電話受信者が電話に出て、電話ボタンにて「#」のみを押された場合、エスカレーションはそこで終了となります（「待機」と同じ状態になります）
- Mackerel の「アラートグループ」機能には対応しておりません。アラートグループの通知はメールおよびチャットにて受信してください
- 機械による読み上げであるため、聞き取りにくい発音・読み方になる箇所があります

# 監視

監視状況の確認は Mackerel のコンソールにて行えます。

## Mackerel へのログイン(サインイン)

下記 URL へアクセスしログインしてください。

- <https://mackerel.io/signin>

ユーザ名およびパスワードは、弊社では管理しておりません。

ログインできなくなった場合には、上記 URL のサインイン画面よりパスワードリセットの申請が可能ですのでお試しください。

それでもうまくいかない場合は弊社サポートへお問い合わせください。

## Mackerel コンソール(監視画面)の見方

### Overview ダッシュボード

オーガニゼーションの状況を一覧できます。

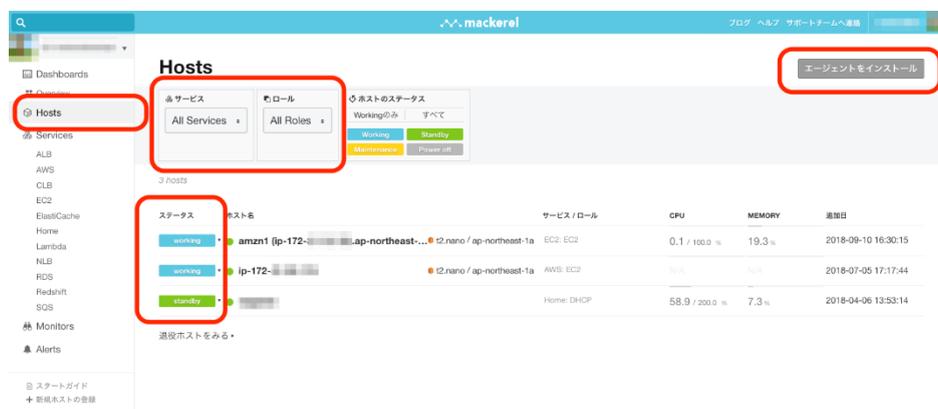
The screenshot shows the Mackerel Overview dashboard for the organization 'cm-hootmonitoring'. The dashboard displays various metrics and sections:

- Alerts:** Critical Alerts (0), Warning Alerts (0), Unknown Alerts (0). The 'Alerts' section is highlighted with a red box.
- Hosts:** Services (9), Roles (9), Hosts (0). The 'Hosts' metric is highlighted with a red box.
- APIキー:** The 'APIキー' section is highlighted with a red box.

- 現在発生しているアラートの数が表示されます。
- 登録してあるホストの台数が表示されます。
- アラートが発生している場合、こちらに概要が表示されます。また、アラート発生時には左カラムの「Alerts」にアラート数が表示され、ブラウザのサイトアイコン(favicon)に赤い点が表示されます。

## ホスト(Hosts)

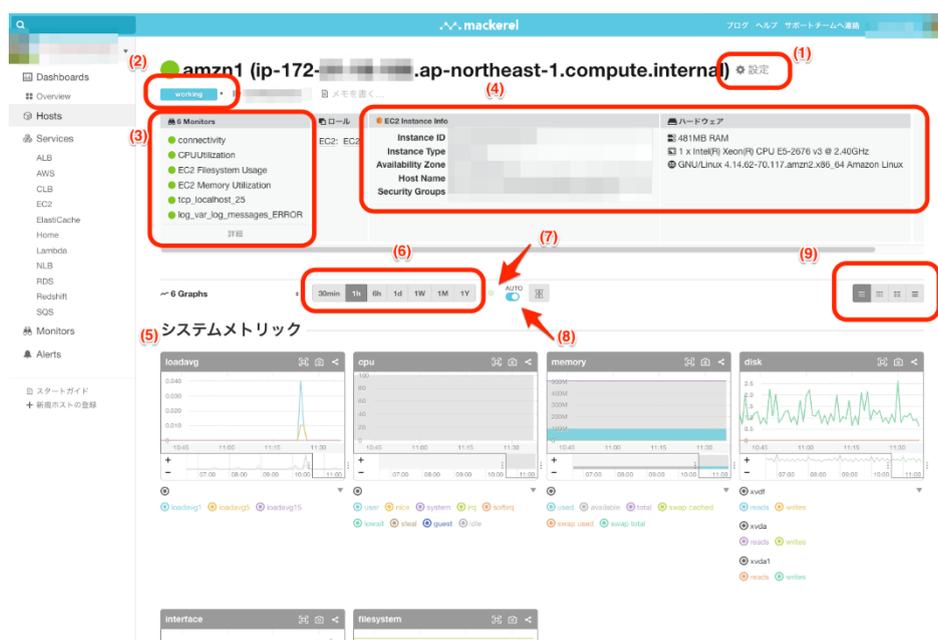
登録されているホスト(監視対象)が一覧できます。各ホスト単位の詳細画面へはこちらから移動可能です。



- サービス名・ロール名で絞り込みが可能です
- EC2 インスタンスに mackerel-agent をインストールするためのコマンドライン等はここから取得できます(必要なAPIキーなどの情報があらかじめ埋め込まれた状態で表示されます)
- 各ホストのステータスをこの画面から変更可能です。ステータスを変えることで、該当ホストを監視対象とするか否か、障害発生時に通知するか否かをコントロールできます。詳細は下記をご参照ください。
  - [監視対象となるホスト - 監視・通知を設定する - Mackerel ヘルプ](#)

## ホスト詳細画面

各監視対象(ホスト)の詳細監視画面を確認できます。



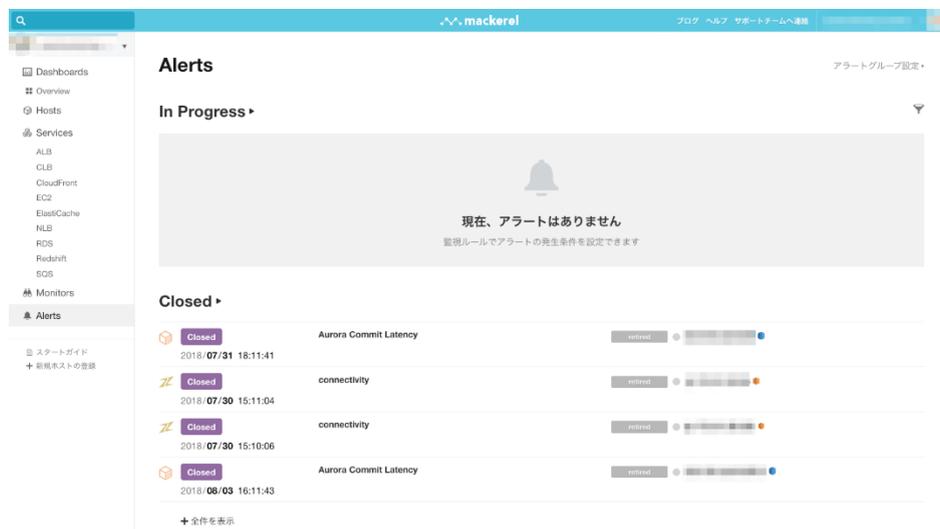
- (1) 対象ホストの管理名を変更する場合は、こちらをクリックします。
- (2) 各ホストのステータスを変更可できます。ステータスを変えることで、該当ホストを監視対象とするか否か、障害発生時に通知するか否かをコントロールできます。詳細は下記をご参照ください。
  - [監視対象となるホスト - 監視・通知を設定する - Mackerel ヘルプ](#)
- (3) 該当ホストで監視しているメトリックの一覧が表示されます。詳細を表示するには該当欄最下段の「詳細」をクリックしてください
- (4) 対象ホストが EC2 の場合、ここに対象の詳細情報が表示されます
- (5) 対象ホストの監視メトリックがグラフ表示されます
- (6) 各グラフの表示範囲を変更できます (30分~1年)
- (7) 手動で再読込する場合はここをクリックします
- (8) ONにしておくことで自動的に再読込されます
- (9) グラフ表示のレイアウトを変更できます (1行に 4列~1行に 1列)

## サービス (Services)

各サービス単位・ロールごとに監視メトリックのグラフを確認することが可能です。

## アラート(Alerts)

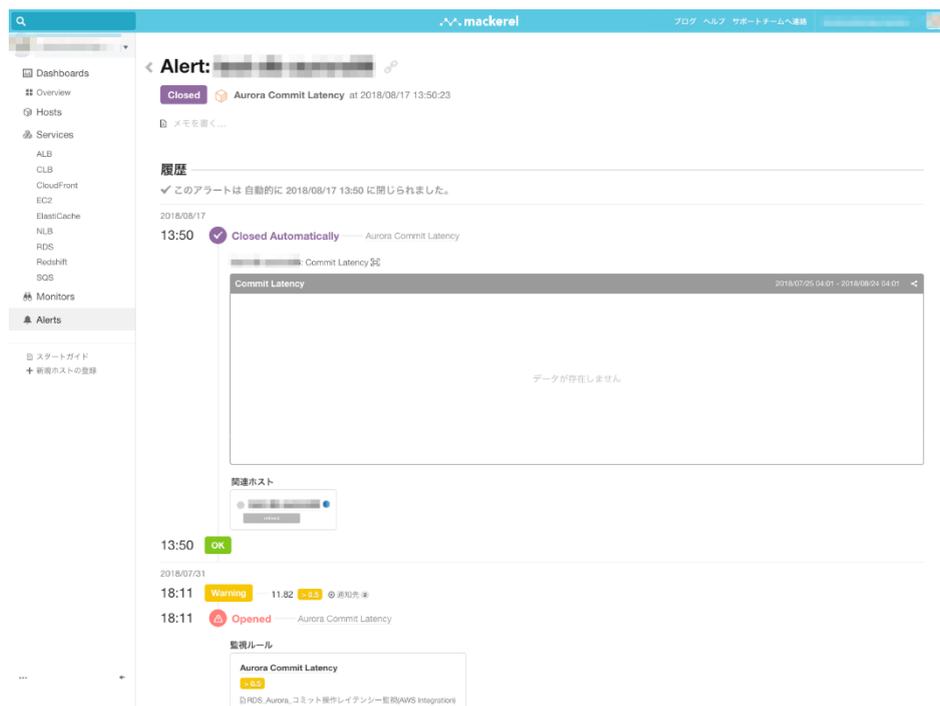
現在発生中の、あるいは過去に発生したアラート(監視警告)の一覧ができます。



The screenshot shows the Mackerel Alerts interface. The top navigation bar includes a search icon, the Mackerel logo, and links for 'ブログ', 'ヘルプ', and 'サポートチームへ連絡'. The left sidebar contains navigation options: Dashboards, Overview, Hosts, Services (ALB, CLB, CloudFront, EC2, ElastiCache, NLB, RDS, Redshift, SQS), and Monitors (Alerts). The main content area is titled 'Alerts' and has a sub-header 'In Progress' with a dropdown arrow. Below this, a message states '現在、アラートはありません' (No alerts currently) with a bell icon and a note '監視ルールでアラートの発生条件を設定できます' (You can set alert conditions with monitoring rules). A 'Closed' section lists several alerts:

Status	Alert Name	Time	Progress
Closed	Aurora Commit Latency	2018/07/31 18:11:41	resolved
Closed	connectivity	2018/07/30 15:11:04	resolved
Closed	connectivity	2018/07/30 15:10:06	resolved
Closed	Aurora Commit Latency	2018/08/03 16:11:43	resolved

A '+ 全件を表示' (Show all) link is at the bottom of the list.



The screenshot shows the details of a specific alert. The top navigation bar is the same as the previous screenshot. The left sidebar is also the same. The main content area is titled 'Alert: [Alert Name]' and shows the alert is 'Closed' with the name 'Aurora Commit Latency' and the time '2018/08/17 13:50:23'. There is a 'メモを書く...' (Write memo...) link. The '履歴' (History) section shows a checkmark and the text 'このアラートは自動的に 2018/08/17 13:50 に閉じられました。' (This alert was automatically closed on 2018/08/17 13:50). Below this, the date '2018/08/17' is shown, followed by a '13:50' entry with a green 'OK' button and the text 'Closed Automatically - Aurora Commit Latency'. A graph titled 'Commit Latency' is shown with the text 'データが存在しません' (No data exists). Below the graph, there is a '関連ホスト' (Related hosts) section with a progress bar and a 'resolved' button. The bottom section shows a '2018/07/31' date, followed by a '18:11' entry with a yellow 'Warning' icon, the value '11.82', and a '通知先' (Notification destination) icon. Below this, a '18:11' entry with a red 'Opened' icon and the text 'Aurora Commit Latency' is shown. A '監視ルール' (Monitoring rule) section is also visible, showing the rule name 'Aurora Commit Latency' and the rule ID 'RDS\_Aurora\_コミット操作レイテンシー監視AWS Integration'.

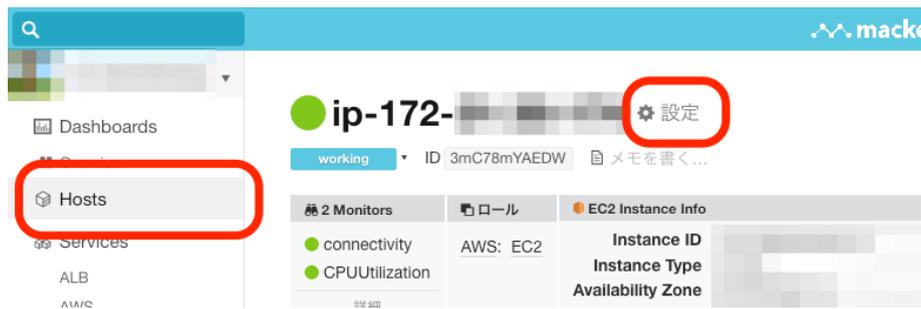
※現在監視オプションの電話通知エスカレーション機能は、アラートグループをサポートしておりません。設定する際にはご注意ください。

# 監視対象(ホスト)設定

## 管理名の登録

Mackerel は EC2 の名称を OS のホスト名から取得し、Name タグの情報を取得しません。コンソール上から管理名を設定することが可能なので、分かりやすい名称を設定しておくことをお勧めします。

管理名が設定されている場合は、電話通知時に管理名が読み上げられます。管理名はホスト詳細画面から設定できます。



## サービス・ロールへの所属

Mackerel の監視通知(アラート)は、サービス・ロール単位で設定されます。ホスト設定の画面から、対象ホストをサービス・ロールに所属させてください。

監視オプションでは通知設定のされたサービス・ロールを作成、設定してお渡し致します。



ロールの右下の「+」をクリックして追加してください。

## 監視対象(ホスト)の追加と削除(退役)

### 監視対象(ホスト)の追加

監視対象(ホスト)を追加するには、対象としたいリソースに所定のタグを付与します。標準の値は下記となります。

タグ名 (Name)	値 (Value)
cm-hoot-enable	true

監視対象(ホスト)が EC2 インスタンスの場合、AWS インテグレーションによる監視だけだと得られる情報(メトリック)は限られます。mackerel-agent の導入をお勧めします。

mackerel-agent の導入方法は OS によって異なります。詳細は下記 URL をご参照ください。

- [エージェントをインストールする - Mackerel ヘルプ](#)

### 追加した監視対象(ホスト)をサービス・ロールに所属させる

ホストを追加だけでリソースのグラフは作成されますが、監視通知をさせたい場合にはサービス・ロールに所属させます。

サービス・ロールの設定はホストの詳細画面から行えます。

## 追加した監視対象(ホスト)がALBあるいはNLBだった場合

ALB並びにNLBは、後述する手順に従って、ターゲットグループ監視用のルールを追加してください。

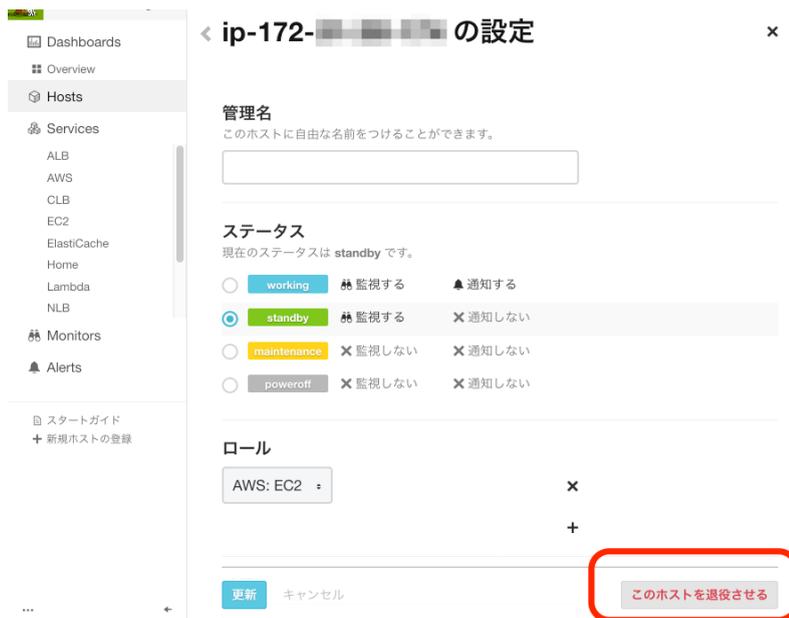
- [ALB / NLBを新たに監視開始する場合](#)

## 監視対象(ホスト)の削除(退役)

監視が不要になった場合は、下記の手順を実施してください。

1. 対象AWSリソースから該当のタグを削除、または別の値(falseなど)に変更する
2. Mackerel 上でホストを「退役」させる
3. (EC2のみ / 実施しなくても問題ありません)mackerel-agent が動作中であれば停止させる

ホストの「退役」は下記の画面から操作可能です。



# 監視閾値の変更(全体)

監視閾値は「監視ルール」の設定を変更することで可能です。この場合はサービスに属する全てのホストが対象となります。

監視ルール設定

監視通知は有効です。  
監視通知を無効にするとアラートはチャンネルに通知されなくなります。

さんのアラート通知受信設定は有効です。

監視ルール 33 **ここをクリック**

- ALB Client TLS Negotiation ErrorCount**  
alb.tls\_negotiation\_error\_count.client  
ALB : \*
- ALB HTTPCode\_Backend\_5XX**  
alb.httpcode\_count.target\_5xx  
ALB : \*
- ALB HTTPCode\_ELB\_5XX**  
alb.httpcode\_count.alb\_5xx  
ALB : \*

ALB Client TLS Negotiation ErrorCount

ホストメトリック監視

監視対象  
ステータスが **working** のホストのみアラート通知が送信されます。  
より詳しくは

メトリック  
alb.tls\_negotiation\_error\_count.client

閾値

- Warning条件  
> 0.7
- Critical条件  
> 10

平均値監視  
24時間以内のデータしか監視されません。  
1 点の平均値を監視

アラート発生までの最大試行回数  
Warning Critical のアラートに相当する異常が 1 回連続で発生した場合にアラートを発生させます。

設定  
監視対象のホストをサービス/ロールで絞り込むことができます。サービス/ロールを指定しない場合、全ホストが監視対象となります。また、特定のサービス/ロールのみ監視を除外することもできます。

ALB

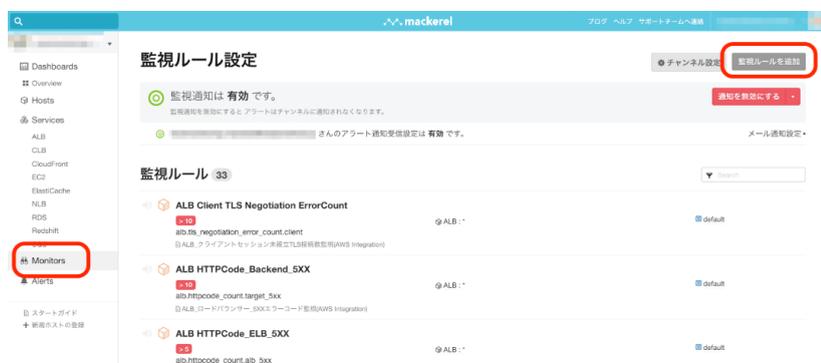
更新 キャンセル この監視ルールを削除

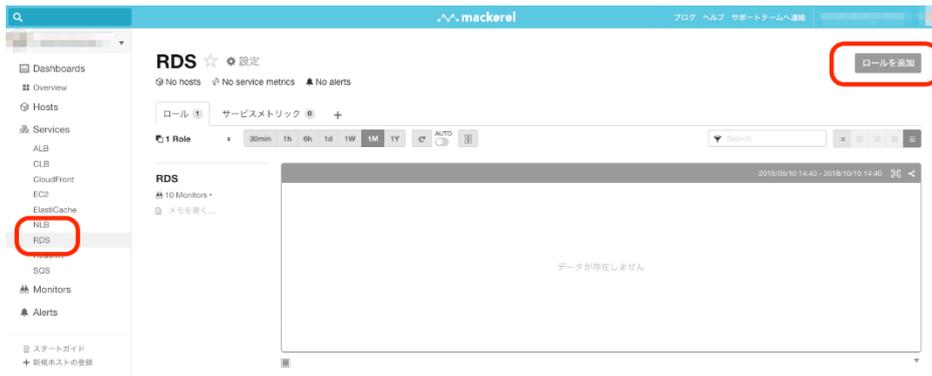
# 監視閾値の変更(個別)

ホスト個別に異なる閾値設定を行いたい場合は、サービス内に新しくロールを作成して所属させ、そちらに対して別の監視ルールを設定する必要があります。

## 例: 特定の RDS についてのみ、RDS CPU Utilization の閾値を変更したい場合

1. 既存の監視ルールを参考に新しい監視ルールを作成する
2. 新しくロールを作成する(必要に応じてサービスを作成し、その中にロールを作成する)
3. 作成した監視ルールを、作成したサービス・ロールに適用する
4. 個別設定したいホストを、作成したロールに所属させる





## 新規ロールを作成する

オーガニゼーションとサービス

[Organization] / RDS

ロール名

db

メモ

メモを書く...

**TIPS:** ロールとは、「app」「db」「proxy」など、あるサービスに所属するホストを機能によってさらに分類する概念です。ホストの状況はロール毎にまとめて可視化されます。



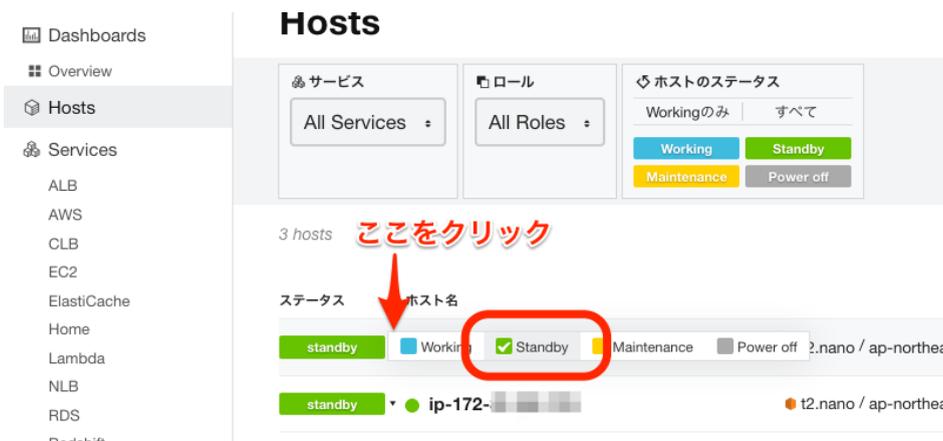
# 監視対象からの一時的な停止

監視を一時的に停止する方法は2通りあります。

- ホスト単位での一時停止
- 監視ルール単位での一時停止

## ホスト単位での一時停止

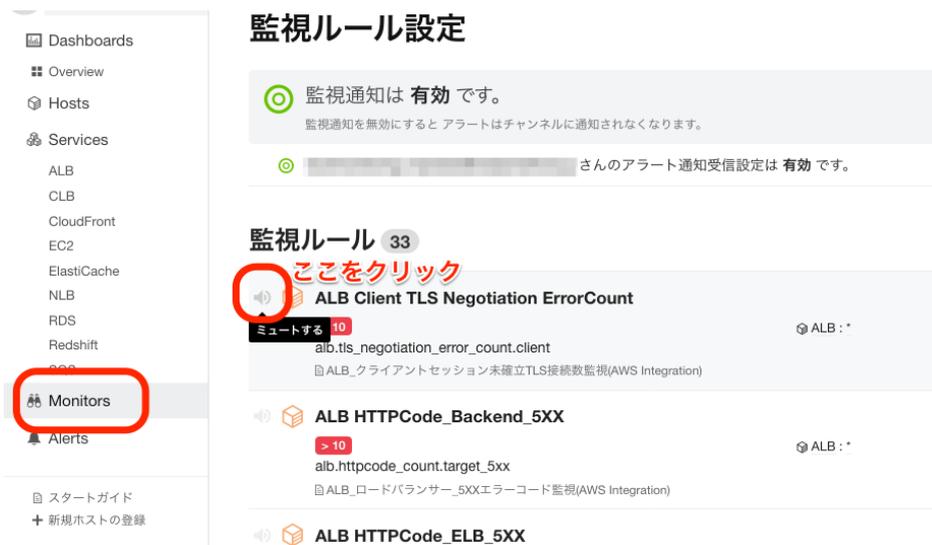
ホスト設定画面から、ステータスを「Standby」あるいは「Maintenance」にします。



- **Standby** ... 通知は停止しますが、各種メトリックの収集(グラフ)は継続されます
- **Maintenance** ... 通知ならびにメトリックの収集を停止します

## 監視ルール単位での一時停止

監視ルール設定画面から、該当の監視ルールをミュートにしてください。



# 通知

各種通知は「チャンネル」という名前で管理されます。

「Monitors」から「チャンネル設定」画面へ進んでください。



通知内容については「監視運用の流れ」をご参照ください

## メール通知

「CMモニタリング(Mail)」通知チャンネルにて設定します。「特定のユーザー」欄にメールアドレスを追加・削除してください。

通知チャンネル 4



## 電話通知

---

Criticalレベルの監視警告は電話にて通知されます。

電話の通知先は、お客様側で設定変更できません。CMサポートまでご連絡ください。

## チャットへの通知

---

「CM監視オプション(チャット名)」通知チャンネルにて設定します。

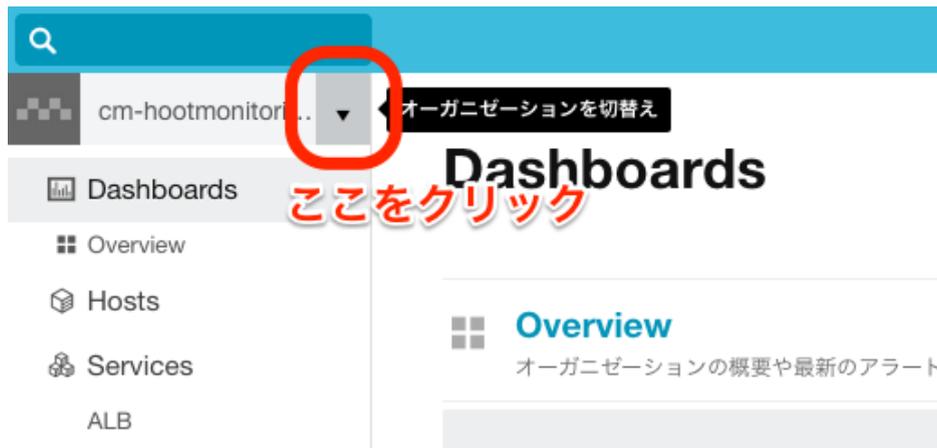
チャンネル設定については下記ヘルプをご覧ください。

- [アラート通知/alerts - ヘルプ - Mackerel ヘルプ](#)

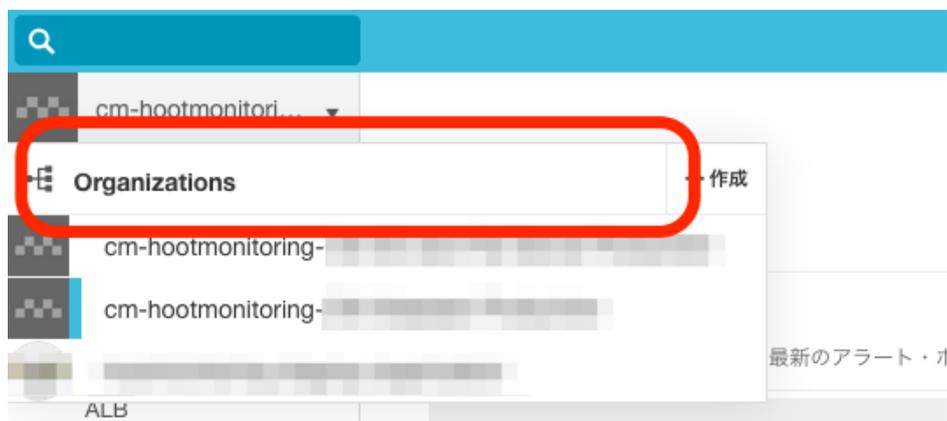
## その他の操作

### オーガニゼーションの切替

ひとつのアカウントで複数のオーガニゼーションに所属している場合は、Mackerel コンソールの左上から切り替えることが可能です。



リスト最上段の「Organizations」をクリックすると、所属している全オーガニゼーションの一覧が表示されます。直接オーガニゼーション名をクリックすることも可能です。



### Mackerel アカウントの追加(招待)

- [他のユーザをMackerelに招待する - Mackerel ヘルプ](#)

## Mackerel UI の言語切換(日本語・英語)

---

Mackerel コンソールの言語は、日本語と英語が用意されており、ログインアカウントごとに設定可能です。

アカウント設定 > ユーザーインターフェースから設定ください。

## Mackerel サービスの提供状態について

---

Mackerelのシステム状態につきましては、下記URLにてご確認ください。

- [Mackerel Status](#)

# よくある質問(FAQ)

## Mackerelの他のAWSインテグレーション(例:DynamoDB)の監視設定方法について

監視オプションが初期状態で提供していない他のAWSインテグレーション項目の監視を開始するためには、以下の作業を行ってください。

ここでは例として DynamoDB についての説明をします。

- AWS マネジメントコンソール作業
  - IAM ロールに管理ポリシーを追加
  - 監視対象の DynamoDB テーブルに監視タグを追加
- Mackerel コンソール作業
  - DynamoDB 監視用のサービスを追加
  - 作成したサービスの下に、ロールを追加
  - AWS インテグレーション設定にて DynamoDB を有効にする

### IAM ロールに管理ポリシーを追加

AWS のマネジメントコンソールから IAM コンソールを開き、AWS インテグレーションのための IAM ロールに下記の管理ポリシーを追加してください。

対象の IAM ロール	付与する管理ポリシー
MackerelAWSIntegrationRole	AmazonDynamoDBReadOnlyAccess

### 監視対象の DynamoDB テーブルに監視タグを追加

監視対象としたい DynamoDB テーブルに、監視オプション監視用のタグを付与してください。

タグキー	値
cm-hoot-enable	true

### DynamoDB 監視用のサービスを追加

Mackerel コンソールの Services > 「サービスを追加」から、AWS インテグレーション機能にて設定されるデフォルトのサービスを作成します。

監視オプションでは「DynamoDB」を推奨いたします（以下の手順もそちらを前提とします）。

## 作成したサービスの下に、ロールを追加

Mackerel コンソールの Services > DynamoDB > 「ロールを追加」から、AWS インテグレーション機能にて設定されるデフォルトのロールを作成します。

監視オプションでは「DynamoDB」を推奨いたします。

サービス	ロール
DynamoDB	DynamoDB

## AWS インテグレーション設定にて DynamoDB を有効にする

オーガニゼーション設定の「AWS インテグレーション」から「編集」をクリックし、DynamoDB のチェックボックスを ON にします。

デフォルトのロールとして、作成した「DynamoDB:DynamoDB」を選択してください。

設定が完了したら「更新」をクリックし保存してください。しばらくすると選択したサービス・ロールに、対象の DynamoDB テーブルがホストとして登録されます。

## 参考

- [AWSインテグレーション - Mackerel ヘルプ](#)
- [AWSインテグレーション - DynamoDB - Mackerel ヘルプ](#)

## ALB / NLBを新たに監視開始する場合

---

通常、新しいAWSリソースの監視を開始するためには、該当のリソースに `cm-hoot-enable` タグを付与して頂くことで可能となります。

ただし対象がALBならびにNLBの場合は、タグを付けただけでは、その配下のターゲットグループに対する監視が行われません。以下に説明する手順で監視ルールを追加するようお願いいたします。

## 注意

- 監視ルールは、ALBのターゲットグループに対して3種類、NLBのターゲットグループに対して2種類あります。
- 本手順はターゲットグループごとに行う必要があります。ひとつのALBまたはNLBに対して複数のターゲットグループが設定されている場合は、その数だけ監視ルールを作成してください。

つまり、ふたつのALBにターゲットグループが2つずつ設定されていた場合は、 $2 \times 2 \times 3 = 12$ の監視ルールを追加するようにしてください。

## 手順

左ペイン「Monitors」から、右上「監視ルールを追加」をクリックします。

The screenshot shows the AWS CloudWatch console interface. On the left sidebar, the 'Monitors' option is highlighted with a red rectangular box. In the main content area, the '監視ルールを追加' (Add Monitoring Rule) button is highlighted with a red rectangular box, and a red arrow points to it from below. The page title is '監視ルール設定 34'. The main area displays a list of monitoring rules, including 'ALB Client TLS Negotiation ErrorCount', 'ALB HTTPCode Backend 5XX', and 'ALB HTTPCode ELB 5XX'.

「ホストメトリック監視」をクリックします。

The screenshot shows the 'Create New Monitoring Rule' page in the AWS CloudWatch console. The page title is '< 新規監視ルールを作成'. The 'Host Metrics Monitoring' option is highlighted with a red rectangular box. Other monitoring rule options visible include 'Host Availability Monitoring', 'Service Metrics Monitoring', 'Appearance Monitoring', 'Formula-based Monitoring', and 'Anomaly Detection in Roles'.

表示されたフォームに対して下記のパラメータを設定、「作成」をクリック(指定以外の欄はデフォルトのままにしてください)。

## ◀ ホストメトリック監視

×

ホストのメトリックの平均値を監視します。

### 監視対象

ステータスが **working** のホストのみアラート通知が送信されます。  
[より詳しくは](#)

### メトリック

メトリックを検索してください

①

### 閾値

#### ● Warning条件

>

0.7

②

#### ● Critical条件

>

0.9

③

#### 平均値監視

24時間以内のデータしか監視されません。

3

点の平均値を監視

### アラート発生までの最大試行回数

Warning

Critical

のアラートに相当する異常が

1

回連続で発生した

場合にアラートを発生させます。

### 絞込

監視対象のホストをサービス/ロールで絞り込むことができます。サービス/ロールを指定しない場合、全ホストが監視対象となります。また、特定のサービス/ロールのみ監視を除外することもできます。

#### 絞込条件

All Services

\*

④

サービス/ロールが設定されていないホストも含む全ホストが対象です。

除外条件を追加

### 基本設定

#### 監視ルール名

my monitor

⑤

#### 監視ルールのメモ

メモを書く...

### オプション

#### 通知の再送間隔

アラートが発生している期間に一定の時間間隔で通知を再送し続けます。

通知の再送を設定する

#### 再送間隔

60

分

作成

キャンセル

## ALBの場合

① メトリック	② Warning条件	③ Critical条件	⑤ 監視ルール名
custom.alb.host_count.*.*.healthy		< 1	ALB TargetGroup Healthy Host Count - ***
custom.alb.host_count.*.*.unhealthy	> 0		ALB TargetGroup UnHealthy Host Count - ***
custom.alb.httpcode_count_per_group.*.*.target_5xx	> 10		ALB TargetGroup HTTPCode_Target_5XX_ Count - ***

※ 表内の「\*\*\*」の箇所はターゲットグループ名に置換してください

※ 「④ 絞り込み条件」には「ALB:ALB」と指定してください

## NLBの場合

① メトリック	② Warning条件	③ Critical条件	⑤ 監視ルール名
custom.nlb.host_count.*.*.healthy		< 1	NLB TargetGroup Healthy Host Count - ***
custom.nlb.host_count.*.*.unhealthy	> 0		NLB TargetGroup UnHealthy Host Count - ***

※ 表内の「\*\*\*」の箇所はターゲットグループ名に置換してください

※ 「④ 絞り込み条件」には「NLB:NLB」と指定してください

# 付録

## IAMロールの作成

監視オプションをご利用頂くにあたり、IAMロールの作成が必要となります。

### 情報

- スタックの名前: cm-pn-monitor-prd-client-iamrole
- 作成されるリソース:
  - IAMロール ... MackerelAWSIntegrationRole, CmMonitoringRole

### 作成手順

1. AWSにログインします
2. リンクをクリックします
  - <https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/cloudformation/home?region=ap-northeast-1#/stacks/create/review?templateURL=https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/pn-monitor-prd-client-iamrole-template/CmMonitoringRole.yml&stackName=cm-pn-monitor-prd-client-iamrole>
3. スタック名に「cm-pn-monitor-prd-client-iamrole」と入力されているため、必要があれば変更してください
4. 「AWS CloudFormation によって IAM リソースが作成される場合があることを承認します。」にチェックし「作成」をクリックします
5. ブラウザを更新し「状況:CREATE\_COMPLETE」であることを確認します
6. 作業完了した旨ご連絡ください

以上で作業完了となります。

## Mackerelアカウントの招待

弊社にて監視オプション環境のセットアップを行う際、Mackerel オーガニゼーションへの招待メールが届きます(管理者権限となります)。

<b>From</b>	Mackerel <noreply@ <a href="https://mackerel.io">mackerel.io</a> >
<b>Subject</b>	[Mackerel] Invitation from <オーガニゼーション名>

本文中の URL よりアクセスされたあとは、案内に従ってアカウントを作成されるか、すでにお持ちのMackerelアカウントにてサインインしてください。

また、他のアカウントを招待することも可能です。管理者権限のアカウントにてサインインした後、下記画面からメールアドレスを入力し招待してください。

## Mackerel(初期状態)と監視オプション(お渡し状態)の違い

お渡し時にいくつかの初期設定を行います。差異については下記をご参照ください。

項目	Mackerel(初期状態)	監視オプション(お渡し状態)(※1)	備考
プラン	Trial/Free/Standard いずれかのプラン	Classmethodプラン	Standard相当(機能上の差異はありません)
オーナー権限	お客様で管理となります	弊社(クラスメソッド)で管理します	
サービス・ロール	設定無し	監視オプション標準設定状態	
AWSインテグレーション設定	設定無し	監視オプション標準設定状態	
APIキー	Defaultのみ	ひとつ作成(Readのみ)	
通知設定	Defaultのみ	監視オプション標準設定状態	
Defaultの通知	参加全メンバーにメールで通知	申請頂いたアドレスにのみ通知	

(※1)設定内容についてはサービス仕様書をご参照ください

## 電話通知の番号について

---

電話通知の際には、下記の番号から着信します。

電話番号
050-3184-4199

## 接続元の IP アドレス範囲について

---

URL 外形監視を行う場合、監視対象(ELB、EC2など)に対して下記 IP アドレスからの接続を許可してください。

IPアドレス
52.193.111.118/32
52.196.125.133/32
13.113.213.40/32
52.197.186.229/32
52.198.79.40/32
13.114.12.29/32
13.113.240.89/32
52.68.245.9/32
13.112.142.176/32

- Mackerel からの監視接続になりますので、詳細は下記をご参照ください
  - [FAQ・Webhook通知や外形監視など、Mackerelからの通知元IPアドレスは？ - Mackerel ヘルプ](#)

# ご質問・お問い合わせについて

## Mackerelについて

Mackerel の基本的な使い方や、Mackerel を高度にお使いになられたい場合は、はてな社が公開するMackerelのドキュメントをご参照ください。

- [ヘルプ - Mackerel ヘルプ](#)
- [FAQ - Mackerel ヘルプ](#)

Mackerelのメンテナンスなどの情報は、下記Mackerelブログや、重要度に応じて各Mackerelアカウントのメールアドレスに送信されます。

- <https://mackerel.io/ja/blog/archive>

なお、当社にて重要と判断された事象につきましては、メンバーズポータルにご登録頂いた連絡先宛にメールにてご連絡いたします。

## 監視オプションについて

監視オプションについてのご質問・お問い合わせにつきましては、クラスメソッドメンバーズポータルよりお問い合わせください。

(「通常のお問い合わせ」として対応させていただきます → [緊急度について](#))

## メンバーズポータルからの問合せ方法:

お問い合わせ → お問い合わせホーム をクリックします。



お問い合わせを送信 をクリックします。



お問い合わせを送信

Members Support

よくある質問と回答を検索する (例: EC2 再起動)

お知らせ

[【機能改善・構成変更】](#)

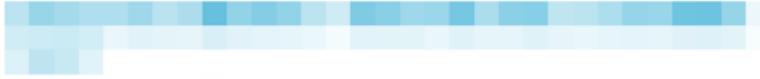
[【障害情報】](#)

表示されたフォームに対して下記を記入し、「送信」をクリックしてください

- 問い合わせるサービスとして「メンバーズサービス」を選択してください
- 問合せ種別として「監視オプション」を選択してください
- AWSアカウントIDと、ご利用のMackerelのオーガニゼーション名をご記載ください
- 問い合わせる内容と件名をお書きください
- 必要に応じてCC(メールアドレス)と添付ファイルを設定してください

## リクエストを送信

どのサービスに関するお問い合わせですか？



以下の製品は専用フォームよりお問い合わせください

- **Insightwatch**
- **CSアナリティクス**

メンバーズサービス (料金・ポータル・各種オプション・ルートユーザー作業)

### CC

メールアドレスを追加

### AWSアカウントID\*

- ご契約中のAWSアカウントID (12桁半角数字) をご記入ください
- ご契約のないアカウントIDに対してはサポートのご提供ができません

### 問い合わせ種別\*

- Opswitch は平日 10:00-18:00 (祝日、弊社所定休日を除く) でのご返信となります
- 当月請求書の発行状況に関しては、[こちらのリンク先](#) をご参照ください

監視オプション (旧フートモニタリング)

### 件名\*

### プロジェクト名 / オーガニゼーション名 (Mackerel)\*

### 説明\*

### 添付ファイル

- 添付可能なファイルサイズは最大20MBです。
- サイズ超過する場合は、S3バケットにファイルをアップロード頂いた上、ダウンロードURLをご連絡ください。

ファイルを追加またはここにファイルをドロップ

送信